

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成25年11月12日
【四半期会計期間】	第47期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	アルビス株式会社
【英訳名】	ALBIS Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大森 実
【本店の所在の場所】	富山県射水市流通センター水戸田三丁目4番地
【電話番号】	0766(56)7200(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 池田 和男
【最寄りの連絡場所】	富山県射水市流通センター水戸田三丁目4番地
【電話番号】	0766(56)7200(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 池田 和男
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第2四半期 連結累計期間	第47期 第2四半期 連結累計期間	第46期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
営業収益(千円)	32,349,443	32,417,483	63,908,439
経常利益(千円)	601,303	724,936	1,485,766
四半期(当期)純利益(千円)	289,936	391,360	659,254
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	443,356	412,743	755,338
純資産額(千円)	13,768,115	14,492,937	13,922,350
総資産額(千円)	31,835,149	31,360,439	31,538,711
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	8.98	12.12	20.68
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	8.97	-	-
自己資本比率(%)	43.2	46.2	44.1
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	986,379	641,190	2,488,371
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	741,091	865,752	1,694,213
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	572,075	374,711	1,219,114
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	3,634,962	2,937,519	3,536,793

回次	第46期 第2四半期 連結会計期間	第47期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	0.53	4.73

- (注) 1. 営業収益は、売上高に不動産賃貸収入を加えたもので表示しております。
2. 営業収益には消費税等は含んでおりません。
3. 第47期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第46期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2【事業の内容】

当社グループは、当社、連結子会社4社及び非連結子会社1社により構成されています。

当社は、食品スーパーマーケットを主な事業としております。連結子会社(株)アルデジヤパンは惣菜品の製造及び精肉加工を、連結子会社(株)クレハ食品は豆腐商品類の製造を、連結子会社(株)サンピュアーは不動産賃貸事業を行っており、いずれも食品スーパーマーケットを補完する事業として位置付けております。

また、連結子会社アルビスクリーンサポート(株)は、障がい者を雇用しリサイクル及びグループ内の各種業務を受託しております。

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの営む事業の内容及び主要な関連会社の異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに認識または発生した事業等のリスクは、次のとおりであります。

なお、文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 競争激化に関するリスク

当社グループは、地域に密着した食品スーパーマーケットを北陸3県に店舗展開しております。その商圏内において、同業他社の食品スーパーマーケットのほか、コンビニエンスストアやドラッグストアの参入が相次いでおり、業種・業態を超えた企業間競争が激化しております。当社グループとしては、競合他社の動向を把握するとともに、お客様のニーズに対応した店作り、売場作りを進めておりますが、今後さらに競合他社の出店が加速した場合、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

(2) 法的規制のリスク

当社グループの事業活動は、食品衛生法、独占禁止法、JAS法、環境・リサイクル関連法規など各種の法令・規制等の適用、行政の許認可等を受けております。当社グループとしては、法令遵守の徹底に努めておりますが、これらの法令に違反する事由が生じた場合や許認可等が取消され又はそれらの更新が認められない場合には、事業活動が制限され、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費及び設備投資が持ち直し傾向にあり、政府による各種政策の効果の発現により、景気回復の期待感が高まっております。しかしながら、海外景気の下振れや、個人所得が伸び悩む中で平成26年4月に消費税増税が予定されているなど、景気は先行不透明な状態であります。

小売業界におきましては、一部の高額品は売行きが伸びているものの、食品スーパーにおいては、お客様の低価格志向に変化はなく、同業他社のほか、業態を超えた企業との競争の激化、仕入価格の高騰や光熱費の上昇等により、厳しい経営環境となっております。

このような状況の下、当社グループは、経営方針である「信頼されるスーパーマーケットの確立」を目指して、次の取り組みを行いました。

営業面につきましては、販売促進を強化するとともに、生鮮の強化策を組み合わせ、お客様の来店動機を高める取り組みを行いました。

継続的な取り組みとしましては、お客様にとって価値ある商品を選定して集中販売する「チャレンジ100」の推進や、お客様のライフスタイルの変化に対応した、健康商品、簡便商品及び個食商品の充実に努めております。

業務改善面につきましては、グロサリー・雑貨部門で「自動発注システム」を導入し、陳列時間を早朝へ集中させるなど、業務の効率化、生産性の向上に取り組んでおります。

新店につきましては、平成25年4月に未出店地域でありました富山県南砺市へ「アルビス福光店」、平成25年6月に石川県金沢市へ「アルビス大友店」を出店しました。競争が激しい地域へ出店したこともあり、従来ほど新店の立ち上がりにスピード感はありませんが、業績は安定して推移しております。また、既存店の強化策として平成25年5月に「アルビス立山インター店」のリニューアルを行い、日配・グロサリー売場を拡大するとともに生鮮を含めた品揃えの充実を図りました。このリニューアルにより、お客様の来店頻度が増加し、業績は順調に伸びております。

社会貢献面につきましては、さまざまな食材や食文化について楽しく学ぶいただくために、親子料理教室や工場見学など食育活動に取り組んでおります。

業績につきましては、販売促進の強化のほか、当第2四半期連結累計期間に2店舗の出店を行い、また、1店舗のリニューアルを行った結果、増収となりました。営業利益、経常利益及び四半期純利益につきましては、売上総利益率が改善されたこと及び前連結会計年度に引き続き、業務改善によるコスト削減に取り組んだこと等により増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益32,417百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益627百万円（前年同期比27.2%増）、経常利益724百万円（前年同期比20.6%増）及び四半期純利益391百万円（前年同期比35.0%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期連結累計期間に比べ697百万円減少し、2,937百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ345百万円減少し、641百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローの内訳は、税金等調整前四半期純利益が702百万円、減価償却費689百万円、減損損失18百万円、のれん償却額112百万円等による資金の増加と、たな卸資産の増加額103百万円、法人税等の支払額486百万円等による資金の減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ124百万円増加し、865百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローの内訳は、有形固定資産の売却による収入143百万円等による資金の増加と、有形固定資産の取得による支出995百万円、投資有価証券の取得による支出87百万円等による資金の減少であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ197百万円減少し、374百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローの内訳は、長期借入れによる収入2,070百万円及び自己株式の処分による収入285百万円等による資金の増加と、短期借入金の純減少額800百万円、長期借入金の返済による支出1,734百万円、配当金の支払額127百万円、リース債務の返済による支出68百万円等による資金の減少であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の新設が、当第2四半期連結累計期間において完了したものは、次のとおりであります。

会社名 事業所名	所在地	事業の部門	設備の内容	完了年月	完成後の増加能力
アルビス(株) アルビス福光店	富山県 南砺市	スーパーマーケット 部門	店舗新設	平成25年 4月	年間売上 1,600百万円
アルビス(株) アルビス大友店	石川県 金沢市	スーパーマーケット 部門	店舗新設	平成25年 6月	年間売上 2,000百万円

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	33,779,634	33,779,634	名古屋証券取引所 市場第二部	単元株式数 1,000株
計	33,779,634	33,779,634	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	33,779,634	-	1,829,322	-	2,405,774

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
三菱商事株式会社	東京都千代田区丸の内二丁目3番1号	2,678	7.93
ボランタス協同組合	富山県富山市野々上15番地	2,028	6.00
アルビス共栄会持株会	富山県氷見市柳田字布尾山24番地	1,925	5.70
株式会社北陸銀行	富山県富山市堤町通り一丁目2番26号	1,586	4.70
アルビス社員持株会	富山県射水市流通センター水戸田三丁目4番地	1,239	3.67
大森 実	富山県射水市	761	2.26
株式会社日本アクセス	東京都品川区大崎一丁目2番2号	722	2.14
株式会社富山第一銀行	富山県富山市総曲輪二丁目2番8号	713	2.11
株式会社北國銀行	石川県金沢市下堤町1番地	700	2.07
三菱食品株式会社	東京都大田区平和島六丁目1番1号	679	2.01
計	-	13,032	38.58

(注) 1. 上記のほか、自己株式が982千株あります。

2. 当社の大株主でありますボランタス協同組合は、平成25年6月22日開催の臨時総会にて解散を決議しております。なお、現在清算手続き中のため、当社として株主の移動等の確認はできておりません。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 982,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 32,746,000	32,746	-
単元未満株式	普通株式 51,634	-	1単元(1,000株) 未満の株式
発行済株式総数	33,779,634	-	-
総株主の議決権	-	32,746	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
アルビス株式会社	富山県射水市流通セ ンター水戸田三丁目 4番地	982,000	-	982,000	2.91
計	-	982,000	-	982,000	2.91

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,536,793	2,937,519
売掛金	218,578	224,923
商品	1,443,140	1,536,748
原材料及び貯蔵品	63,450	72,969
その他	854,708	873,508
貸倒引当金	8,176	540
流動資産合計	6,108,495	5,645,128
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,624,460	8,290,188
土地	10,037,301	9,929,277
その他(純額)	1,689,751	1,524,037
有形固定資産合計	19,351,514	19,743,503
無形固定資産		
のれん	339,143	226,307
その他	607,962	558,113
無形固定資産合計	947,106	784,420
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,651,398	3,628,635
その他	1,701,883	1,753,163
貸倒引当金	221,685	194,409
投資その他の資産合計	5,131,596	5,187,388
固定資産合計	25,430,216	25,715,311
資産合計	31,538,711	31,360,439
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,212,665	3,340,822
短期借入金	800,000	-
1年内返済予定の長期借入金	3,036,688	2,873,246
未払法人税等	515,337	310,082
賞与引当金	346,081	332,974
その他	1,796,930	1,504,025
流動負債合計	9,707,702	8,361,149
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	5,827,761	6,326,562
受入敷金保証金	721,134	765,178
資産除去債務	428,165	459,300
その他	631,598	655,311
固定負債合計	7,908,658	8,506,352
負債合計	17,616,361	16,867,502

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,829,322	1,829,322
資本剰余金	2,505,944	2,525,944
利益剰余金	10,112,166	10,376,332
自己株式	477,707	213,068
株主資本合計	13,969,726	14,518,530
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,376	25,993
その他の包括利益累計額合計	47,376	25,993
新株予約権	-	400
純資産合計	13,922,350	14,492,937
負債純資産合計	31,538,711	31,360,439

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	31,791,940	31,871,186
売上原価	22,840,374	22,757,591
売上総利益	8,951,566	9,113,594
不動産賃貸収入	557,503	546,297
営業総利益	9,509,069	9,659,892
販売費及び一般管理費	¹ 9,016,123	¹ 9,032,761
営業利益	492,945	627,130
営業外収益		
受取利息	15,484	15,612
受取配当金	10,631	10,595
受取手数料	24,114	23,286
受取販売奨励金	38,442	42,607
その他	110,771	88,248
営業外収益合計	199,445	180,351
営業外費用		
支払利息	83,400	77,752
その他	7,687	4,793
営業外費用合計	91,087	82,545
経常利益	601,303	724,936
特別利益		
固定資産売却益	38	-
賃貸借契約解約益	107,400	-
リース資産減損勘定取崩益	140,386	-
特別利益合計	247,825	-
特別損失		
固定資産除却損	9,176	4,724
固定資産売却損	12,995	-
投資有価証券評価損	232,296	-
減損損失	-	18,024
特別損失合計	254,468	22,749
税金等調整前四半期純利益	594,659	702,186
法人税、住民税及び事業税	147,873	290,657
法人税等調整額	156,849	20,169
法人税等合計	304,723	310,826
少数株主損益調整前四半期純利益	289,936	391,360
四半期純利益	289,936	391,360

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	289,936	391,360
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	153,419	21,382
その他の包括利益合計	153,419	21,382
四半期包括利益	443,356	412,743
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	443,356	412,743
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	594,659	702,186
減価償却費	667,441	689,766
減損損失	-	18,024
のれん償却額	112,836	112,836
貸倒引当金の増減額(は減少)	45,880	34,912
賞与引当金の増減額(は減少)	19,580	13,107
役員賞与引当金の増減額(は減少)	18,000	21,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,152	6,821
ポイント引当金の増減額(は減少)	1,732	3,689
受取利息及び受取配当金	26,116	26,208
支払利息	83,400	77,752
固定資産除売却損益(は益)	22,133	4,724
投資有価証券評価損益(は益)	232,296	-
賃貸借契約解約益	107,400	-
リース資産減損勘定取崩益	140,386	-
売上債権の増減額(は増加)	139,081	6,345
たな卸資産の増減額(は増加)	62,967	103,126
支払債務の増減額(は減少)	27,013	19,968
その他	186,794	181,276
小計	1,218,291	1,188,837
利息及び配当金の受取額	10,969	11,449
利息の支払額	80,709	72,728
法人税等の支払額	162,170	486,368
営業活動によるキャッシュ・フロー	986,379	641,190
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	846,602	995,574
有形固定資産の売却による収入	50,294	143,250
無形固定資産の取得による支出	30,023	6,643
投資有価証券の取得による支出	-	87,210
その他	85,239	80,426
投資活動によるキャッシュ・フロー	741,091	865,752
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	850,000	800,000
長期借入れによる収入	2,300,000	2,070,000
長期借入金の返済による支出	1,639,068	1,734,641
社債の償還による支出	22,000	-
自己株式の処分による収入	-	285,000
自己株式の取得による支出	182,995	361
配当金の支払額	129,590	127,011
リース債務の返済による支出	48,421	68,097
その他	-	400
財務活動によるキャッシュ・フロー	572,075	374,711
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	326,787	599,274
現金及び現金同等物の期首残高	3,961,749	3,536,793
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 3,634,962	¹ 2,937,519

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費用及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給料及び手当	2,868,272千円	2,795,432千円
賞与引当金繰入額	318,484	323,255
ポイント引当金繰入額	1,732	3,689
賃借料	974,885	972,335
減価償却費	608,515	639,449
運搬費	54,107	53,193
水道光熱費	615,705	600,695
販売促進費	671,555	735,696
広告宣伝費	403,436	357,561
業務委託費	726,183	759,446

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	3,634,962千円	2,937,519千円
現金及び現金同等物	3,634,962	2,937,519

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(1)配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	130,023	4.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(2)基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月5日 取締役会	普通株式	127,105	4.00	平成24年9月30日	平成24年12月7日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(1)配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	127,194	4.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(2)基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月1日 取締役会	普通株式	131,189	4.00	平成25年9月30日	平成25年12月6日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

当社グループは、全セグメントに占める「スーパーマーケット事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社グループは、全セグメントに占める「スーパーマーケット事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

(金融商品関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成25年9月30日)

四半期連結貸借対照表計上額等が前連結会計年度末と比べて著しく変動していないため、該当事項はありません。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成25年9月30日)

四半期連結貸借対照表計上額等が前連結会計年度末と比べて著しく変動していないため、該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成25年9月30日)

ヘッジ会計が適用されているものについては記載の対象から除いているため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	8円98銭	12円12銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	289,936	391,360
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	289,936	391,360
普通株式の期中平均株式数(千株)	32,288	32,298
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	8円97銭	-
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(千株)	34	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年11月1日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (イ) 中間配当による配当金の総額 131百万円
- (ロ) 1株当たりの金額 4円
- (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成25年12月6日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月12日

アルビス株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大村 啓三 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岡田 芳明 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアルビス株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アルビス株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。